

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（911））
2. 日時：平成30年5月1日 18時07分～18時12分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

穂藤安全審査官、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 課長 他1名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・東海第二発電所 工認ヒアリング 年間スケジュール表（案）
- ・溢水等による損傷防止の基本方針
- ・防護すべき設備の設定
- ・溢水評価条件の設定
- ・溢水影響に関する評価
- ・溢水防護施設の詳細設定
- ・溢水防護に関する施設の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果
- ・水密扉の耐震性についての計算書
- ・防護カバーの耐震性についての計算書
- ・溢水への配慮が必要な施設の強度計算の方針
- ・貫通部止水処置の強度計算書
- ・水密扉の強度計算書

- ・ 浸水防止堰の強度計算書
- ・ 防護カバーの強度計算書
- ・ 逆流防止装置（床ドレンファンネル）の強度計算書
- ・ 東海第二発電所 工事計画に係る説明資料 その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設
- ・ 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書（抜粋）
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書のうち補足-40-3【環境条件における機器の健全性評価の手法について】（抜粋）
- ・ 操作性・操作環境に対する説明
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 原子炉格納施設の設計条件に関する説明書のうち補足-270-4【ベント実施に伴う作業等の作業員の被ばく評価について】
- ・ ベント実施に伴う作業等の作業員の被ばく評価
- ・ 東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）